

陸上運動部便り

2010年6月号

国公立戦

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1 国公立戦 | 1 |
| 1.1 前監督の言葉 | 1 |
| 1.2 主将の言葉 | 2 |
| 1.3 女子主将の言葉 | 2 |
| 1.4 試合経過 | 2 |
| 1.5 試合結果 | 15 |
| 2 2010年度部内5傑 2010.6.13 | 20 |
| 3 自己記録更新者一覧 2010.5.24~6.13 | 21 |
| 4 主務より | 22 |
| 4.1 応援OB・OG紹介 | 22 |
| 4.2 行事予定 | 22 |
| 4.3 連絡先(慶弔等) | 22 |

1 国公立戦

1.1 前監督の言葉

前監督 寺田秋夫

男子、久しぶりの優勝。女子も充実の2位。

第58回東京地区国公立戦は大井競技場で学芸大の主幹で開催されました。ホームストレートが終日2m前後の向かい風で記録を狙うにはやや厳しい条件ではありましたが、終始気温25度湿度60%前後と、この時期としては爽やかなコンディションとなりました。この試合は、男子には一部復帰を目指すための試金石、女子にも日本のトップレベルの選手と同じ舞台に立てるという意味で学大の胸を借りる位置づけとなっていますが、例年、関東インカレ直後の開催のため、選手の体調もあっておらず、締まりがない試合となりがちですが、今回は関東インカレから3週間あき、レベルも高く緊張感もある試

合が期待されました。

男子は出だしの1500mで高田(M1)が3分台、東(3年)も4'00"59の自己新でのワンツーフイニッシュで始まり、学大のエントリー方針にも助けられ100mで本学は3人決勝、先方は決勝進出なし、両リレーは本学が勝ち、マイルでは先方が着外など象徴的なシーンもあり、トラックで30点近く引き離す圧勝となり、選手層の差のあるフィールドで負け越しましたが、総合では6種目で優勝、対校得点205点獲得で、東学大に8点差をつけての優勝となりました。ハンマー投げがエントリー数が少なく5点制で本来は学大はもう9点取って、接戦というところでしたが、いずれにせよ良く戦って久々の勝利でした。

この試合は院生も出場でき、彼らに助けられた部分も少なからずありましたが、学大も同じ状況のエントリーで胸を張ってよい結果と思います。選手を出して点をとれなかった種目は1種目だけであったことや、下級生の得点が多かったのも、7大を展望すると良い材料です。記録的にも、400mで大澤(2年)の49"53、走幅跳で西田(4年)の7m13、4×100mリレーで絶妙のバトンでの42"06と、満足のゆくものもありました。また、結果に結びつかなかったレースもありましたが2番手3番手が積極的に攻めるレース・試技をしてくれたり、エース級の選手が多種目出場で息切れせず一日競技できたのも良いことで、試合全体が締まりのある良いものとなりました。

女子も新入部員が多くバランスの良い戦力となり期待をもって臨みましたが、流石に学大には及びませんでした。若きエース久保木(2年:100m,110mH,走高跳,4×100mR)と堀越(D5:100m,400m,走幅跳,4×100mR)がフィー

ルド・トラックで、投擲で楠木 (M1)・武田 (1年) の両名が全種目出場・得点のマルチでの活躍 (武田は円盤では優勝) で、トラックフィールドとも全種目で得点し、3位を大きく離しての2位となりました。

男子の優勝という表面的なことだけでなく、男女とも故障者が復活し始め、1年生も得点に複数からんでおり、夏場に向け、益々充実が予想される嬉しい結果となりました。対校戦は3週間後 (7/3) に上尾で四大戦、そこから4週開けて七大戦と今年はリズムが作りやすい日程ですので、今日の各人の課題を反省・補強し7大戦に向けて男女とも気持ちよく自信をもって行ってほしいと思います。(当日、藤田監督にご不幸があり、代筆いたしました)

1.2 主将の言葉

主将 酒谷 彰一

感動的な優勝劇

男子は今年の関東インカレで57.5点を獲得した東京学芸大を抑え8年ぶりに勝利することができました。今年は例年と異なり、小福田さん (M1)、高田さん (M1)、持永さん (D1) といった院生の方々もフル活用させて頂くなど全ての種目においてベストの布陣を敷き、貪欲に優勝を狙っておりました。当日は出場した選手全員が懸命のパフォーマンスを見せてくれ、その積み重ねが学芸大のそれを少しだけ上回る結果となりました。

東大と学芸が同点という状況で迎えた最後のマイルリレー対決におけるチームの一体感に見られたように、対校選手、OP選手、応援の部員が誰一人欠けてもこの優勝という結果は得られませんでしたし、チームの力によって個々の力の集合がその単純和を超え得るんだということを実感する試合となりました。また私たち4年生は入学してから二校对校戦以外で勝利を収めた経験がありませんでしたので、この勝利は非常に感動的なものとなりました。

個人ベースで見るとエースの西田 (4年)、東 (3年)、佐々木 (2年) が複数種目で結果を残したこと、また大澤 (2年) が400mにおいて3度目の正直で関東インカレB標準を突破したことが

特筆すべき点として挙げられる他に、飯島や山元といった1年生も早速活躍しており、今後の試合においても続々と新戦力が台頭してくれることを期待しております。

現在、東大陸上部は四大戦、七大戦ともに努力次第で優勝が狙える位置にいます。集中を切らすことなく現状のいい流れを継続させ、今後も各地で東大旋風を巻き起こしていく所存であります。

1.3 女子主将の言葉

女子主将 高山 花子

チーム全体で戦う、今季初の対校戦。今年も総合2位となりましたが、内容を振り返ると、個々人の持ち味がバランスよく発揮され、学芸大に昨年以上に迫ることが出来たのではないかと思います。今回がデビュー戦となった期待の新人、武田 (1年) が円盤投での優勝を始め投擲種目で大量に得点し、増田 (1年) も800mで自己記録を更新し6位に入賞、鈴木 (1年) も400mで8位に入賞するなど、1年生の活躍がチームに勢いを与えました。上級生も、鈴木 (3年)・浜松 (2年)・杉浦 (2年) の中距離陣を始め、久保木 (2年)・鈴木 (2年) の短距離陣がしっかり決勝で得点し、高山 (4年)・丹家 (2年) の跳躍陣も昨年ベスト以上の記録を出す等、安定して実力を発揮し、院生の助力もあって全ての対校種目で得点することが出来ました。

新入生が4名入部し、学部生13名、院生3名となった女子チームは、現在、非常にバランスのよい布陣となっております。個々人の記録にはまだまだ向上の余地が見られるので、今後の四大戦、七大戦に向け、一層頑張ってくださいと思います。今後とも、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い致します。

1.4 試合経過

トラック

9:30 男子 1500m タイムレース決勝

高田 (M1)、東 (3年)、大内田 (2年)

の出場。タイムレースであるが3人とも速い方の2組目であるので、ここでの着順が順位に直結する。高田はもちろん上位入賞が期待され、東も長距離のエースながらスピードがあり今シーズンは1500mでも関東インカレ標準を狙うほどの選手であるので高得点が期待される。大内田は唯一の中距離パートとして是非活躍してもらいたいところ。

スタートはまずまず混乱もなく高田、東は4、5番手につけ、大内田は最後尾に位置する。1周目の通過は64秒で三者とも実力的に余裕のある通過であった。そのままレースは進むが、大内田が700mあたりで集団から離れてしまう。高田はその時点で2番手という好位置につける。1000mの通過が高田は2'40、東が2'42、大内田が2'46であった。ラスト1周になり高田はトップを狙える絶好の位置取りで走りにも余裕が見られる。東は辛そうでいつものスパートが出るかどうか不安なところ。ラスト250mで高田がトップに躍り出るとラスト200mで東が猛然とスパート。高田はそのままトップでゴールインしタイムは3'59"30、東は一気に選手を抜き去りラストに2番手になるとそのまま2着でゴールしタイムは4'00"59。大内田は終始勝負に絡めず10着(11位)のゴールでタイムは4'12"29であった。

東大は1位2位となり、合計15点となる大活躍を見せた。今大会始めのレースで東大に「今日勝てるかもしれない」という勢いを与えたことは確かである。

9:45 男子400m 予選

気温は高すぎないが、ホームストレートでは常時2mを超えるような向かい風が吹き、400mの選手にとっては試合の組み立てが難しくなりそうだ。

1組3レーンに小松(3年)の出場。ま

ずまずのスタートを切り前を追う。バックストレートも追い風に乗り伸びやかなフォームで駆け抜けていく。200mを過ぎてからはピッチが落ち始め先頭から離され始めるが、ラスト100mに入ると粘りを見せ前の選手との差を縮めていく。しかし着順を上げることはできず、52"34の3着でゴール。全体の3着以下のタイムを待つことになる。

2組2レーンに小福田(M2)の出場。スタートで少し出遅れバックストレートもなかなか差を縮められない中、第2曲走路に突入。しかし他の選手がスピードを落としていく中、良いピッチでコーナーを駆け抜けていく。外の選手をかわしてホームストレートの時点では2番手。そのまま追い上げられることもなく51"18の2着でゴール。見事決勝進出を決めた。

3組5レーンに大澤(2年)の出場。スタートをしっかりと決め最初からリードを奪う。バックストレートもそのまま大きなストライドで駆け抜けそのままコーナーへ入る。コーナーを抜けたところで振り返り周囲を確認。他の選手とは十分な差がある。そのままホームストレートも走り切り最後にもう一度後方を確認し、流しながら50"49の1着でゴール。決勝に進む。

決勝進出には51"53が必要で、小松は予選落ちとなった。小松は怪我明けということを考えればまずまずのタイム。大澤は全体のトップのタイムであり小福田と合わせての1、2フィニッシュが期待される。

10:00 男子100m 予選

1組6レーンに菊池(2年)の出場。初の対校試合出場であるが決勝進出なるか。5レーンに資格記録10秒8台の藤田(電通大)がいる中で、自分の力を出し切ってほしい。良い飛び出してスタートし、まずまずの加速で中盤までは2番手の藤田のすぐ後ろにつけ必死

に喰らいつく。レース終盤、向かい風の影響を受けながらも懸命のラストスパートで藤田をかわし、2着でフィニッシュ。見事決勝進出を果たした。タイムは11"61、風は - 1.5mであった。

2組4レーンに春日(3年)の出場。持てる力を発揮すれば上位入賞も十分狙える選手であり、予選は余裕の走りで決勝進出を決めたい。号砲が鳴ると、スタートで少し出遅れたが、爆発的な加速で中間疾走につなぎ、前を行っていた2人と猛烈な1、2着争いを演じ、そのまま終盤へ。強い向かい風の中、最後は春日が必死のラストスパートでわずかに2人をかわして1着でフィニッシュ。決勝進出を決めた。タイムは11"50、風は - 3.6mであった。

3組7レーンに西田(4年)の出場。関東インカレで自己ベスト10"83をマークし絶好調の西田は100mの優勝候補筆頭。多種目の出場を控えているので、この予選ではなるべく力を温存して決勝進出を決めたいところ。まずまずのスタートから他の選手を寄せ付けない圧倒的な加速で一気に先頭へ立つと、50m手前から左右を確認しながら走る余裕ぶりで、そのまま1着でフィニッシュし、決勝進出。タイムは11"51。風は - 3.4mであった。

10:30 女子100m 予選

1組4レーンに久保木(2年)の出場。競技前には体を動かしてリラックスする様子が見られた。号砲が鳴る。低い姿勢で抜群のスタートを切ったものの、序盤で2人の選手が久保木の前に出る。中盤からは3番手をキープし、後ろの選手との距離をぐいぐい離していく。最後は横を見て自分の順位を確認する余裕を持って、13"65の3着でゴールした。このときの風は - 2.5mであった。

2組2レーンに鈴木(2年)の出場。同じ組には、資格記録が自分より速い

選手が3人いるが、3着+2人が決勝に進めるため、喰らいついて3着には入りたいところである。スタートで少し出遅れるが、落ち着いて鋭い加速で前に出て、途中3番手となる。このまま順位を落とさずゴールを切りたいところだったが、惜しくも終盤で抜かれて13"84の4着でゴールした。このとき、 - 3.3mの強い向かい風が吹いていた。

久保木は着順で、鈴木もタイムで拾われて、女子100mは2人揃って決勝進出を果たした。

10:55 男子110mH タイムレース決勝

去年の国公立戦と同じ布陣で臨む110mH。強い向かい風は吹き続けている。東学大との得点争いで接戦が予想される中、関カレの標準記録を切っている三人全員に高得点獲得の期待が高まる。

1組3レーンに江間(4年)の出場。号砲が鳴り勢いよく飛び出す。1台目の入りはまずまずで、中盤で二番手につける。後半に入り三番手にじりじりと迫られるも、最後まで抜かされることなく16"46の2着でゴールした。このときの風は - 2.8mであった。

2組4レーンに増本(4年)、7レーンに酒谷(4年)の出場。1台目は全員ほぼ横一線に入る。酒谷は1台目をうまく越え、1着争いの後方の位置をキープ。前の選手を捕らえていきたいところだが、後半は伸びず、徐々に離されていく。15"95の3着でフィニッシュした。増本は1台目のハードリングがその後の走りにスムーズにつなげられず少し出遅れてしまう。後半は危なげないハードリングを見せてその遅れを取り戻し4番手に浮上。そのまま16"15の4着でゴールした。このときの風は - 3.9mであった。

全体では酒谷が3位、増本が5位、江間が7位で、この種目では12点獲

得となった。難しいコンディションであったが、そんな中でも期待された以上に点数を稼ぐことが出来、全体としては良い結果であった。次の対校戦にも期待できるだろう。

11:10 女子 100mH 決勝

4レーンに久保木(2年)、7レーンに高橋(M2)の出場。ちょうど良い気温ではあったが、ハードル選手にとっては厳しいコンディションが続く。

号砲が鳴る。他の選手と競り合いながら加速した久保木。ハードリングもまずまずだ。中盤では東学大の選手との2位争いを演じるが、直前の100mの疲れもあってか、なかなか前に出られない。最後は東学大の選手が抜け出し、15"95の3位でゴールした。一方の高橋は、スタートから少し出遅れてしまう。早急に持ち直したいところだが、リズムがつかめず、後半以降もインターバルをうまく刻めない。前方から大きく離され17"26の4位でフィニッシュした。このときの風は - 1.9mであった。

2人とも納得のいくタイムではなかったが、強い向かい風の中、持ち記録の順位通りの結果を残せたことは自信になるだろう。高橋には走力を磨き、今後の大会での更なる活躍を、また久保木には自己ベスト更新はもちろん、関カレ、全カレ標準突破も期待したい。

11:20 男子 200m 予選

1組8レーンに胄島(3年)の出場。絶えず向かい風が吹きタイムが出にくいコンディションであるが、一番外側のレーンということもあり、しっかりと自分の走りをしてもらいたい。胄島が実力的に一つ抜けたラウンドであったが、スタートから内側の選手を寄せ付けず、直線に入ってもカーブでのリードを保ったまま、後半は余力を残して23"42の1着でゴール。このときの風

は - 3.3mであった。

2組7レーンに増本(4年)の出場。5レーンを走る長島(東学大)は関東インカレ400mH第4位の実力者ではあるが、乱されることなく決勝進出を決めてもらいたい。長島がカーブから一人抜け出し、直線に入って二番手でそれを追う展開に。2着+2で通過ということもあり、増本は深追いせず、しっかりと二番手をキープし、23"53の2着でゴール。このときの風は - 3.0mであった。

3組2レーンに真木(2年)の出場。関東インカレで100m準決勝に残った石原(東学大)が内側の1レーンを走る組での出場となった。スタートから石原と共にレースを引っ張るも、カーブ後半から少しずつ石原と真木の距離が開いていく。直線に入って4レーンの選手が近づいてくるが、2着の座は譲らず、そのまま23"43でゴール。このときの風は - 2.2mであった。

向かい風で全体にタイムは伸びなかったが、見事3人とも決勝進出を果たした。決勝では1点でも多くの得点を期待したい。

11:35 男子 800m 予選

2組5レーンに渡邊(4年)の出場。ゆったりとスタートして2番手につく。ラスト1周で先頭がペースを上げるとそれについて行き、バックストレートで抜き去る。ラストは力をセーブしながらの余裕の走りで2'01"52の1着でゴールイン。決勝への期待を伺わせた。

3組5レーンに園部(4年)の出場。2番手につき、ゆっくりの展開ながら先頭は3人に絞られる。ラストの鐘が鳴るとペースを上げ先頭に立つが、残り200mで後ろの2人に追いつかれ2番手に落ちる。ラストは足が止まり、もう一人の選手にもかわされゴールイン。2'01"93の3着であったが、タイムで拾われ決勝進出を決めた。

4組8レーンに近藤(4年)の出場。積極的に先頭に出る。200mを過ぎてからはペースを落としながらも先頭を維持。ラスト1周で後続が前に出るが落ち着いて追い、バックストレートで再び先頭に立つとそのまま逃げ切って2'06"25の1着でゴールイン。うまいレース運びで決勝進出を決めた。

12:05 男子5000mW 決勝

井上(4年)、瀧川(2年)、近藤(1年)の出場。院試で不在の早川の代わりに、新入生の近藤が戦うこととなった。力のある東学大勢を相手に、どれだけ得点を確保できるか。曇りではあるが、25度を超える暑さの中、レースはスタートした。

スタートして間もなく、OBの明石と春木、東学大の山口が先頭集団を形成。瀧川は東学大の村上、東外大の高島とからなる2位集団、近藤は6位につける。井上は最後方からレースを進めた。その後集団は崩れたが、3選手とも冷静に自分のペースを守る。しかし、井上は警告を重ね、3000m地点で無念の失格となってしまふ。一方で瀧川・近藤の2選手は、それぞれの順位をキープしたまま歩き続けた。そのまま大きくペースを落とすことなく、瀧川は22'27"53の4位、近藤は25'39"06の6位でゴールした。

井上は苦しいレースが続くが、自らの課題を見つけ修正し、今後の試合でその成果を発揮してもらいたい。近藤は早い段階で対校戦を経験できたのが大きい。明確な目標を持ち、今後も練習に励んでほしい。瀧川にはもう一段上の選手と渡り合えるよう、更なるレベルアップを期待する。

12:45 男子100m 決勝

3レーンに春日(3年)、5レーンに西田(4年)、7レーンに菊池(2年)の出場。国公立戦での最大のライバル東学

大の選手が1人も決勝に進出しなかった為、東大の3人は最低限の仕事を果たしたといえるが、ここで上位に食い込み1点でも多く点数を稼いでおきたいところ。

春日と西田はまずまずのスタート。菊池は少しスタートで遅れをとってしまった。加速区間はほぼ全員が拮抗していたが、中盤で抜け出て優勝争いを演じたのは西田と4レーン上埜(首都大)の2人。ラスト20m程まで先頭は僅かな差で上埜だったが、西田が落ち着いた走りですラストスパートをかけ、上埜をかわし見事11"12で優勝。春日は第2集団の中で他の選手に競り勝ち3位でフィニッシュ。記録は11"27。菊池はスタートの遅れが響いたか、前を走る選手たちに及ばず8位でフィニッシュ。記録は11"58。風は-1.5mだった。

終始向かい風が強かった為、全日インカレの標準記録を狙う西田をはじめ、春日、菊池も自己ベスト更新はならなかったが、結果100mでは東大が貫禄を見せ付けた。

12:50 女子100m 決勝

1レーンに鈴木(2年)、8レーンに久保木(2年)の出場。午前が続いて曇り空、強い向かい風も吹いたままでのレース。少しでも上の順位を狙ってほしい。

2人ともまずまずのスタートを切る。久保木は予選の時ほどのスタートのキレは見られなかったが、中盤からは軽やかな走りで行く3選手を追い。しかし、多種目出場の疲れもあってか、3人との差をなかなか縮めることができない。そのまま13"49の4位でフィニッシュした。鈴木は、前半の走りは悪くなく、隣の2レーンの選手を懸命に追いかける。しかし、後半は思うようにピッチが上がらずスピードに乗ることができない。予選よりもタイムを

落とされた13"87の8位でゴールした。このときの風は-2.3mであった。

結果は不本意だったかもしれないが、終始向かい風が吹く中で2人とも決勝に進み、得点を挙げたことの意義は大きい。2人とも4×100mリレーにも出場するため、引き続きコンディションを整えて臨んでほしい。

13:00 男子400m 決勝

依然コンディションは変わらず強い風が終始吹き付けている。5レーンに大澤(2年)、7レーンに小福田(M2)が出場。二人合わせての高得点が期待される。

大澤はスタートから思い切りよく飛ばし100m地点で既に外の選手を捕らえる。小福田も出遅れることなくレースを展開している。大澤はスタートの勢いそのままスピードに乗り、バックストレートでトップに立つ。臆することなく攻めていて、どうやらタイムも狙っているようだ。コーナーもしっかり走り、ホームストレートに帰ってきたときには体一つ分後続から抜けている。続いて小福田もホームストレートに戻ってきてここから粘り、前の選手をかわす。一方大澤はこのままトップでゴールかと思われたが、残り50mから電通大の田中が猛追。ゴール手前で並されると少しかわされて49"53の2位でゴール、続いて小福田が追い上げ50"18の3位でゴールした。

期待がかかった1、2フィニッシュこそならなかったが合計で13点を獲得し、十分得点争いに貢献した。また大澤は優勝こそ逃すも、関カレのB標準を突破し満足しているようであった。この後のマイルにも期待がかかる。

13:05 女子400m タイムレース決勝

2組4レーンに鈴木(1年)、7レーンに堀越(D5)の出場。天候は太陽が雲の隙間から顔を覗かせる曇り。堀越

は今年のこの大会で3位。今年も上位入賞に期待がかかる。鈴木は1年生ながら対校選手として出場。なんとか8位以内に入ってもらいたい。

スタート時、外側3人の選手は良いスタートを切り、内側3人の選手が少し遅れて出る展開となった。堀越は周りの持ちタイムが速いということもあり、調子の良いスタートから前半は積極的に飛ばしていたが、それが裏目にでて第二曲走路あたりから失速。1'04"46の3着でゴールした。一方スタートで出遅れた鈴木は、他の選手に追い付こうと粘り強く走る。しかし、ロングスプリント系の練習を積めておらず、後半の伸びが見られない。結局順位を上げることができず1'06"35の5着であった。

タイムレースの結果、堀越は4位、鈴木は8位であった。鈴木は大学デビュー戦で見事に点をもぎとった。ただ全体として、決していいレース内容とは言えない。反省し更なる高みへと到達することを期待したい。

14:25 男子200m 決勝

4レーンに舩島(3年)、6レーンに真木(2年)、8レーンに増本(4年)の出場。3レーン、5レーンにそれぞれ増本、真木に先着した長島、石原(共に東学大)があり、200m決勝はまさに東大VS東学大の図式となった。

5レーンの石原がカーブから先頭を走り、直線に出たところで体一つ分他の選手をリードする。そしてそれに続くように直線に入って前に出てくる3レーンの長島を、東大の3選手が並んで追う展開となる。そのままの位置をキープ、もしくは順位を上げたいところだが、終盤、真木がやや後退する。舩島、増本は粘りを発揮するも前方の選手には及ばない。増本は22"84の3位、舩島は22"93の4位、真木は23"16の6位でゴール。このときの風は-1.1m

であった。

常時吹く向かい風によって思うようにタイムが伸びず、課題の残るレースとなった。しかし、それぞれに他の種目に出場して疲労が溜まってきた大会後半に14点を稼ぎ出した。チームの男子総合優勝に大きく貢献した3選手の走りは総じて見事だったと言えよう。続くリレーでの活躍に期待したい。

14:35 男子 400mH タイムレース決勝

1組3レーンに赤木(4年)、5レーンに酒谷(4年)の出場。二人ともスタートはまずまずの反応。酒谷は快調にスピードに乗り、5台目付近には外側の選手に追いついた。赤木はバックストレートではやや抑え気味に走る。酒谷は7台目のハードルで多少バランスを崩すが、そこから猛烈に追い上げて9台目と10台目の間で1番手に浮上。そのまま56"35の1着でゴール。一方、第4コーナー付近では3番手だった赤木は、ホームストレートでは前半抑えた分よく体が動き、減速しない。ゴール直前に1人かわして56"90の2着でフィニッシュした。

2組7レーンに高木(3年)の出場。関カレでは予選敗退しただけに、その雪辱を果たしたい。スタートから積極的に飛ばしていく。レース中盤では3番手が3人並ぶ展開となり、接戦となる。この集団から抜け出して上位を狙っていきたいところだったが、その後少しずつ遅れを取り始め、終盤では差が開き結局56"39の5着でフィニッシュした。

全体順位は、酒谷が5位、高木が6位、赤木が7位であり、東大はこの種目で9点を獲得した。今後の対校戦に向け、さらなるタイムの向上が重要となるだろう。

14:50 男子 800m 決勝

3レーン渡邊(4年)、6レーン近藤

(4年)、8レーン園部(4年)の出場。午前中に比べて日も陰り、やや風が強いが快適な天候。3人揃っての決勝進出となり、高得点の獲得が期待される。

初めの一周はややゆっくり目の展開。渡邊が2番手、園部は中盤、近藤は最後尾から追う。ラストの鐘が鳴ると全体のペースが上がるが、ここで園部は集団から脱落してしまう。渡邊は引き続き2番手、近藤は中盤で順位を上げていく。ラスト200mでさらに先頭はペースを上げるが、渡邊はついていきホームストレートで猛スパート。ラスト50mで逆転し、そのまま1'58"09の1位でゴールイン。近藤は3~5位集団で入賞争いをしたが、一步及ばず2'01"87の5位でフィニッシュ。園部は予選で体力を消耗したのか終盤はきつい走りとなった。2'04"20の8位でゴールイン。

対校得点は13点を獲得。渡邊、また、初対校の近藤は共にランキングを覆しての高得点の獲得で、勝負強さをみせた。園部も大学に入って初めての1日2本のレースということで、今後につながる良い経験になったであろう。

15:00 女子 800m タイムレース決勝

2組7レーンに増田(1年)、8レーンに浜松(2年)の出場。申し込みの記録からいって、浜松には2位を確実に取ってもらい、対校初レースの増田には、積極的なレースを展開してもらいたいところ。

スタートして東学大の選手が一人飛び出す。浜松はやや離れて2番手につけ、その後ろに農工大の選手がつける。増田は2番手争いからは離れて、4番手につける。400mを浜松は69"、増田は医科歯科大の選手と並走する形で72"で通過。ラストのコーナー出口で農工大の選手が浜松を抜きにかかる。浜松も負けじとスパートして喰らいつこうとするが、一度ついた差は縮まら

ず2'25"47の3着でフィニッシュ。増田はコーナー出口で前に出ようとスパートするも、抜くことができず2'30"95の5着でフィニッシュ。全体で浜松は3位、増田は6位で東大は計9点を獲得した。

浜松はもっと早く走る能力はあるため、今回のこの結果は残念。今後の奮起に期待したい。増田は対校初レースで自己ベストを記録した。さらに練習して力をつけてほしい。

15:20 男子4×100mR 決勝

8レーンに増本(4年)-西田(4年)-真木(2年)-春日(3年)の走順で出場。天候は曇り。風はホームストレートでやや強い向かい風が吹いている。対校得点で僅差となっているため1点でも多くの得点が期待される。

1走増本はまずまずのスタートを切ると、序盤はやや固さが見られたが、力強い走りでコーナーを駆け抜け、上位争いをしながら2走西田にバトンパス。西田はバトンを受け取ると、100m優勝者の貫録を見せるようにバックストレートの追い風を受けてぐんぐん加速し、後続を引き離して3走真木に1位でバトンを渡す。真木はバトンパスからスムーズに加速し、スピードに乗った走りを見せるが、後半でやや失速したか。しかし順位を守ったまま4走春日にバトンパス。春日は真木の調子が悪いと判断し、タイミングを一瞬遅らせてスタート。詰まり気味のバトンパスとなったが、バトンを受けてからしっかりと加速し、後続との差をさらに広げてゴールラインを駆け抜けた。42"06の1位であった。

各々個人種目の疲労を抱えるなか、安定した走りやバトンパスで8得点を挙げたことはチームにとって大きな自信になった。今後のさらなる記録向上に期待が持てるレースであった。

15:30 男子5000m 決勝

東(3年)、青木(3年)、宮野(3年)の出場。東はこの日の午前中に行われた1500mで自己記録を更新しており、怪我が心配されていた青木も2週間前に行われた競技会の5000mで自己新を出している。また、宮野も好調が続いており、どの選手も今回のレースに期待がもてる。天候は曇りでこの時期としては涼しいものであった。

スタート直後、宮野は軽快にとばし独走となり、東と青木の両選手は2位集団に入った。宮野は後続を引き離し、1000mの通過は宮野が2'53、2位集団は3'00となった。しかし、1600m付近で、2位集団から飛び出した一橋大学の垣(4年)に宮野が追いつかれ、その後、3000mからは宮野と垣の抜きつ抜かれつの戦いとなり、宮野は苦しそうであった。このとき3位集団の中にいた東と青木は余裕をもって走っているように見えた。4300m付近から垣が宮野をふりはらい、宮野はついていくことができなかった。安定した走りを見せていた東と青木は3位集団の中でペースを上げていった。最後に東と青木が宮野を抜き、東は15'11"40の2位、青木は15'12"09の3位、宮野は15'15"54の6位となった。

3人とも自己新ではなかったものの、宮野の積極的な走り、東と青木の安定した走りや後半のねばり強さは素晴らしいものであった。この種目では合計16点を獲得し、チームの優勝にも貢献できたと言える。今回よい結果を残したこの3人には今後も期待がもてる。

15:55 女子3000m 決勝

鈴木(3年)と杉浦(2年)の出場。ホームストレートで向かい風が強く吹く中でのレース。

スタート直後から、持ちタイムで遙かに上回る東学大と農工大の2選手が他の選手を大きく引き離す。杉浦と鈴

木は3位集団につき、5,6番手で1000mを3'31で通過。杉浦はそのまま集団について行くが、鈴木は少しオーバーペースだったのか、1200m辺りで3位集団から離されてしまう。その後、3位集団も徐々にばらけ、杉浦と農工大の2番手の選手との3位争いになる。それまで後ろについていた杉浦がラスト2周から前を出て逃げ切りを図るも、引き離すことは出来ず、逆にラスト1周から抜き返され、そのまま大差をつけられて杉浦は11'14"04の4位でゴール。途中集団から離されてしまった鈴木は入賞争いに絡むことはできなかったが、粘りの走りをみせ11'35"88の7位でゴール。

両者納得のいく結果とは言い難く、中盤からの走りに課題の残るレースとなった。しかし、シーズンはまだ始まったばかりであり、改善の余地も大きいので、今後のさらなる活躍が期待される。

16:15 女子4×100mR 決勝

6レーンに鈴木(2年)-久保木(2年)-高山(4年)-浜松(2年)の走順で出場。日が陰り、風が肌寒く感じる中でのレースとなった。強豪東学大に食らいついてもらいたい。

1走鈴木は号砲に反応良く飛び出し、伸びのある走りを見せ、2走久保木にバトンパス。ここで、久保木のスタートが遅れ、バトンゾーンの手前で鈴木が追いついてしまう。かなり詰まった状態になりながらもバトンはつながった。久保木は加速でやや遅れ、前を行く学芸大にじわじわと離されていくが、必死に追いつき2位で3走高山にバトンが渡る。高山は学芸大に追いつかんと勢いよく飛び出し、全力で走るが、差は縮まらずに4走浜松にバトンパス。ここでもややバトンが詰まったか。浜松はバトンを受けると、向かい風をものともせず走り抜け、52"83

の2位でフィニッシュ。

今回は東学大に強さを見せつけられる形となったが、全体的にバトンが詰まり気味であるなど改善すべき点が見られるので、この悔しさをばねとして、より強いリレーチームを作ってもらいたい。

16:25 男子4×400mR タイムレース決勝

全2組のタイムレースで争われるマイルリレー。2組7レーンに、春日(3年)-大澤(2年)-増本(4年)-肱島(3年)のオーダーで出場。今大会の最終種目であり、この時点での男子総合得点は東大と東学大が同点で1位。東学大は5レーンに出場。東大を背負うという緊張に打ち勝ち、勝利を収め、8年ぶりの総合優勝を成し遂げることができるか。

号砲が鳴る。が、1走春日がフライング。仕切り直して再び号砲が鳴る。春日は前半は若干ハイペースな入りで、テンポよく走る。飛ばしながらも最後まで粘りの走りを見せ、東学大とほぼ同着の2着で2走大澤にバトンパス。大澤は前半から猛烈な勢いで豪快な走りをする。バックストレートからは東学大を追う展開となった。そのまま後ろについていき、ホームストレートでは力強い走りでトップに躍り出る。1着で3走増本にバトンパス。増本は前半落ち着いてリラックスした走り。200m通過地点で一旦東学大に追い抜かれるが、前半にためておいた力をラスト100mで出し切り、再び東学大を抜き去り1着でバトンパス。4走肱島はスタートからぐんぐん加速し、後続を突き放す。快調な走りでそのまま逃げ切り、見事1着でフィニッシュ。タイムは3'22"38であった。

全体でもトップのタイムとなり、この種目の優勝を飾った。この結果、東大は総合優勝を勝ち取った。マイル

メンバーは全員ここの一番での勝負強さを見せた。東大に勝利をもたらしてくれたこの4人を賞賛したい。

フィールド

9:30 男子三段跳 決勝

廣瀬(5年)、西田(4年)の出場。武安(M2)は故障中のため欠場。午前中の試技ということもあり快適な気温であったが、風がやや強かった。

西田は100mに出場するため、1本目で勝負を決めたいところだったが助走が合わずにファール。しかし2本目でキッチリ修正をし13m89(+2.3)をマークしてこの時点でトップに。ここで西田はピットを後にし、これが決勝記録となった。一方廣瀬はなかなか調子が出ず、5本目まで不甲斐ない跳躍が続いた。しかし最後の6本目の跳躍では意地を見せて13m98(+2.6)を跳び、西田を抜いてトップに立つ。最終的には廣瀬が1位、西田が2位という結果になった。

廣瀬は本調子ではなかったもののそれなりの記録を出して上手くまとめた。西田の跳躍には余裕が見られ、更なる記録が期待される。個人レベルでの反省はあると思うが、全体としては最高の結果になった。

10:00 女子砲丸投 決勝

楠木(M1)、武田(1年)の出場。エントリーは9人であり、ここで大きく点数を稼ぎたいところである。

楠木は1投目に8m00を投げる。2投目で8m13と少し記録を伸ばし、4番目でトップ8に進む。4、5投目と記録は伸ばせなかったが投げ自体は悪くなかった。そして最終6投目には砲丸が上手く突き出され、8m50の好記録を出して4位で競技を終えた。武田は1投目に立ち投げで8mを超える投げをし、練習の成果を見せる。続く2

投目に8m52と記録を伸ばし3番目でトップ8に進む。4投目以降は記録を狙うためグライドからの投げに変更した。4投目で9m01と記録を大きく伸ばし、5投目には9m10を記録し、1位の東学大の選手から17cm差の2位で終える。

女子最初のこの種目で12点と大量得点を獲得した。特に武田にとっては初めての対校戦での砲丸投で、1か月という短い練習期間だったが、結果を残すことができ大変良かった。七大戦などでも十分期待がもてそうである。これからさらに練習を積んでほしい。

10:30 男子棒高跳 決勝

持永(D1)、原(4年)、土居(3年)の出場。日差しが強く、4m近い追い風の吹く中での競技となった。

出場者が9名であったため、得点を確保するために3人とも低めの3m30からのスタート。対校円盤投に同時出場しながらも、持永はこれを1跳目で軽くクリア。続く原・土居もバーこそ越えるが、強風に押し戻されたポールでバーを落とす。土居は2跳目でクリアするが、原は、強風のためか足が合わずにこれを失敗。しかし、3跳目には原も余裕でクリアし、勝負強さを見せた。続く3m60でも、持永は余裕のあるグリップを活かして1跳目でクリア。土居はポールが柔らかく、跳躍が流れ失敗、原も跳躍に勢いが足りず失敗した。続く2跳目、土居はポールを5lbs硬くし、見事にクリア。しかし原は、2跳目にまたも足が合わず跳躍にならない。3跳目にはなんとか足を合わせるが、またも勢いが足りず、原はここで試技を終えた。バーが3m80に上がっても、好調の持永はやはり1跳でクリア。土居はグリップを上げてクリアを狙うが、2跳続けて跳躍が形にならず失敗。3跳目は、惜しくも胴が

かすって失敗した。持永は続く 4m00 のクリアを狙うが、グリップの高さだけでは越えきれない高さに失敗し、試技を終えた。持永 2 位、土居 4 位、原 6 位という結果であった。

東学大学に勝ち越すという目標は果たしたものの、持永は 15ft を握りながら空中動作に難を残し、原・土居は跳躍練習不足という課題も残る試合となった。

10:45 女子走高跳 決勝

丹家(2年)、久保木(2年)の出場。東学大の2人の持ち記録が跳びぬけ、そのほかの選手がほぼ横並びというエントリー。少しでも上位に入るために、自己ベストの更新が期待される。

丹家は 1m35 から跳躍を開始。1m40 までを 1 跳目で成功。1m45 は 1 跳目を失敗したものの、2 跳目はうまく踏切ることができ、体が浮いてクリア。自己ベストタイである 1m50 に挑戦する。3 本の跳躍の中で、徐々に踏切を改善し、3 跳目はおいしい跳躍ではあったが、クリアならなかった。

久保木はこの日、多種目出場で、非常に厳しいスケジュールであった。100m 予選、100 m H 決勝を終え、高跳びのピットへ入る。このときバーの高さは既に 1 m 55 まで上がっていた。本来、一度上がったバーの高さを下げることはルール違反である。しかし、この日は審判達がよく理解していなかったようで、久保木に「バーを下げてよい」と言ってしまう。久保木が準備していると、別の審判がやってきて、正しいルールを説明したが、一度下げると言ってしまった以上、今回は特別に下げてもいいということになり、1m40 から跳躍を開始することに。1m40、1m45 を 1 跳目でクリア。中学以来の自己ベストを更新する。1m50 はさすがに疲れも見え始め、失敗に終わった。

結果、久保木が 4 位、丹家が 5 位であった。久保木は忙しい中での出場で、自己ベスト更新は素晴らしい。持ち前のバネを活かして今後の活躍に大いに期待が持てる。丹家は走高跳が専門種目であり、この日の出場はこの 1 つだけ。久保木に負けているようでは話にならない。もっとやる気を出して精進すべきだ。

11:00 男子円盤投 決勝

持永(D1)、佐々木(2年)、片山(2年)の出場。佐々木、片山はここ最近試合であまり記録を残せていないため、特に片山には関東インカレの B 標準である 32m を突破することが期待された。

持永は丁度円盤投と同時に行われていた棒高跳にも出場していたため、2 投目で 31m32 を記録すると 3 投目はパスし、5 番目でトップ 8 に進出した。4 投目に 32m65 とさらに記録を伸ばすと、続く 5 投目には 35m 近い投げをするが、サークルから脚を出してしまい惜しくもファール。結局 4 投目の 32m65 で 4 位であった。佐々木は 1 投目で 35m85 を投げるが、2 投目、3 投目と記録が伸びずファールする。その後も調子が上がらず、6 投目に 35m91 と記録を伸ばすものの結局 2 位で競技を終えた。片山は、1 投目、2 投目と 27m 付近で 8 位、9 位をさまよったが、3 投目で 30m60 を投げてなんとかトップ 8 に進んだ。しかし記録はあまり伸びず 6 投目の 31m04 で 6 位だった。

なんとか東学大に点数で勝つことができたが、全員が調子よく投げられずハラハラする展開であった。四大戦以降に向けての課題になるだろう。

11:00 女子円盤投 決勝

楠木(M1)、武田(1年)の出場。出場人数が 9 人と少なく入賞ラインはかなり低めかと思われるが、2 人とも直前に行われた砲丸投にも出場しており、

疲れが残る中での試合であった。

楠木は1投目に17m71を記録して入賞を確実にするものの、それからの投擲では思うように記録を伸ばすことができなかった。しかし、6番手で迎えた渾身の6投目で19m27を記録し、4位へと順位を上げることができた。武田は1投目から30m近い投擲で優勝をほぼ確定させた。調子はいいようで2投目に31m03と30mを超える投擲をみせると、4投目に34m70の大投擲で2位に7mの差をつけての1位であった。

1年が入ってきたエースの武田が圧倒的な強さで優勝し、東大にとってはうれしい結果となった。女子円盤投の対校戦は関カレと国公立戦と四大戦だけであるが、武田には関カレはもちろんのこと全カレなどのレベルの大会でも活躍していったほしい。

12:15 男子走幅跳 決勝

廣瀬(5年)、西田(4年)、飯島(1年)の出場。気温は高いが日差しは弱く、追い風は強烈という絶好のコンディションの下、競技は開始された。技術練習が十分に積めていない廣瀬、高校時代以来久しぶりの試合出場の飯島には不安が残る。一方このところますます走力をつけ結果を残してきた西田には大きな期待とプレッシャーがかかる。

廣瀬の1本目、2本目は非常に惜しいファール。ベスト8をかけて3本目の跳躍に挑むが、これもタイミングが合わずに記録は6m10で10位。

西田は全ての跳躍で素晴らしいパフォーマンスを見せる。途中100m走に出場のためパスをしたことや、7m30超えの跳躍が惜しくもファールと判定されるなどその実力を出し切れなかったと言いが、それでも結果は自己ベストの7m13で1位。このとき風は+1.9mであった。

飯島は1本目から6m台後半の跳躍

を見せ期待を抱かせるが、なかなかそれ以上記録を伸ばすことが出来ない。ベスト8には残るが、結局記録は6m68で5位と、彼本来の実力を全て出し切ることは出来なかった。

以上の結果により、我が校の獲得点数は12点であった。エース西田の活躍はもちろん、この競技では不調であった廣瀬も三段跳では見事優勝を果たし、新戦力の飯島も台頭するなど、明るい材料の多い本種目である。今後も我が部を率いるような活躍を見せて欲しい。

13:10 女子やり投 決勝

楠木(M1)、武田(1年)の出場。二人とも砲丸投、円盤投に続いて本日3つ目の競技であり疲労が心配された。また、二人ともやり投は専門外の種目であり練習はほとんどできていないが、ポテンシャルの高さで乗り切りたいところである。

楠木はやり投は専門外といっても、国公立戦においては4年連続での出場でありベテランらしく追い風を上手く利用した投擲で1投目に24m25を記録し5番目でトップ8に進む。4投目にも風に乗った投擲で24m26を記録し5位であった。武田はやり投の経験は全くなかったが、2週間前後の練習の成果を発揮し、1投目に22m46を記録。2、3投目は記録への欲が出たのか上手くやりが飛ばず、6番目でトップ8に進む。4投目には安定した助走から上手く投げ、23m05と記録を伸ばしたが順位は上がらず結局6位で競技を終えた。

2位の選手が27m台、3位の選手が25m台と僅差であったため少し残念ではあったが、専門選手がいない中、この種目で7点を獲得しまずまずの結果ではあった。女子やり投の対校戦は関カレを除けば国公立戦と四大戦のみであり、どう取り組んでいくべきか難し

いところである。

13:30 男子走高跳 決勝

小福田 (M2)、地子 (5年)、坂本 (4年) の出場。1m80 を一回で跳べれば得点になるかというところで小福田、坂本には得点の期待がかかっていた。地子は自己ベストタイである 1m70 を一回で跳ぶが 1m75 は跳べなかった。今まで 1m70 がやっとだったが 1m75 がやっと見えてきた。七大戦までに勝負出来るレベルになりたい。小福田は 400m の決勝に出たその直後であったため、はためにも疲れが感じられる跳躍で 1m75 を跳ぶのがやっとであった。坂本は足の調子が悪く、最近では技練を全く出来ていなかったためか助走から跳躍が繋がらない試技で 1m75 を 1 回失敗してしまう。その後 1m75 は跳べたが、動きを修正できないまま 1m80 を 3 回失敗してしまった。

結果は坂本と小福田がともに 1m75 で 10 位と 11 位、地子が 1m70 の 12 位で男子走高跳は無得点に終わり東学大に大差をつけられてしまった。不甲斐ない結果で選手は反省しています。

14:00 女子走幅跳 決勝

堀越 (D5)、高山 (4年) の出場。強い風が吹く中、競技が開始された。例年に比べて出場者のレベルが高く、両者共に上位記録を出すことが期待された。堀越は 50 分前に行われた 400m 決勝の疲労が残る中、1 本目は 4m37 と奮わない。しかし、徐々に感覚を取り戻し、2 本目はファールするも、3 本目に 4m58 を跳び、全体で 7 番目の記録となりベスト 8 に残る。その後の試技で記録を伸ばすが、順位は上げることが出来ず、5 本目に跳んだ 4m72 で 7 位に終わった。高山は 1 本目に追い風に乗り 4m91 を記録、3 本目には惜しくもファールとなるも 5m00 を大きく超える跳躍を見せる。その後、5 本

目に 5m01 と記録を伸ばし、6 本目に跳んだ大学ベストとなる 5m08 で 3 位となった。この種目で東大が獲得した点数は 8 点であった。堀越は 400m との兼ね合いの中で、しっかり仕事を果たしたと言えるだろう。高山も今季は好調であるので、続く四大戦、七大戦でのより大きな跳躍が期待される。

14:00 男子砲丸投 決勝

持永 (D1)、原 (4年)、佐々木 (2年) の出場。天候はくもりで、風もあってちょうどよい気温であった。投擲パートとしては、砲丸投は重要な得点源と考えていたので、どの選手も実力をしっかりと出し切り、上位に入賞することが期待された。

持永は砲丸投の前にあった競技で右手の指を捻挫していたため不安があった。1、2 投目をファールとしたが 3 投目には 10m12 を投げ、5 番目でトップ 8 に進む。そして 5 投目に 10m78 と大きく記録を伸ばし、3 位で競技を終えた。原はなかなか調子上げることができず、2 投目に 9m32 を投げたがトップ 8 に残れず 11 位であった。佐々木は 1 投目から回転投法で攻めの姿勢をみせた。3 投目に 10m81 を投げ、1 位で折り返した。後半はすべてファールとなったが、1 位を守り切り、勝負強さをみせた。

今後も切磋琢磨してほかの選手も含めて対校戦でより活躍できるような力をつけていきたい。

14:50 男子やり投 決勝

原 (4年)、山東 (2年)、山元 (1年) の出場。朝から風が強く、やや難しいコンディションであった。やり投とマイルを残して本学が東学大を 12 点リードしており、総合優勝のためにこの苦手のやり投げで 1 点でも多く得点しておきたいところである。

原は肩を痛めており、あまり練習が

積めていなかった。助走、クロス、投げの全てにおいていいところがなく、2投目の29m69で15位だった。山東は練習投擲ではなかなかの投擲をみせており、1投目に32m03を記録し自己ベストを更新する。しかし、その後は肘が下がり、体が前のめりになる投擲が続いて記録が伸ばせず、13位で競技を終えた。山元は無難な投擲で1投目に45m11を記録し、8番目でトップエイトに進む。4投目にはしっかり肘が上がり、槍の飛び出しが高い投擲をみせ、40m台後半を記録。5、6投目は少し力みがみられ、記録を伸ばせなかったが、順位と自己ベストの両方を期待して計測(ペグ計測)を待った。しかし、審判のミスで山元のペグは測られず1投目の45m11で8位であった。優勝争いにも影響するだけに強く抗議した結果、記録、順位はそのまま2点加点する救済措置がとられ、3点を獲得した。

総合優勝したからよかったものの、この種目で東学大に12点負けたために本学は同点で最終種目のマイルに臨むこととなった。七大戦を見据えても、50mにも満たない記録では話にならない。これ以上お荷物にならないよう奮起を促したい。

1.5 試合結果

第58回東京地区国公立大学対校陸上競技大会
於 大井ふ頭海浜中央公園陸上競技場(H22.6.13)

男子の部

| 100m 決勝 (-1.5) | | | |
|----------------|-------------|-----|-------|
| 1 | <u>西田昂広</u> | 東大 | 11"12 |
| 2 | 上埜大空 | 首都大 | 11"18 |
| 3 | <u>春日慶輝</u> | 東大 | 11"27 |
| 4 | 稲野龍太 | 電通大 | 11"30 |

| | | | |
|---|-------------|-----|-------|
| 5 | 岩崎美秋 | 東外大 | 11"38 |
| 6 | 永田雅之 | 一橋大 | 11"47 |
| 7 | 下沢将啓 | 東工大 | 11"50 |
| 8 | <u>菊池典晃</u> | 東大 | 11"58 |

100m 予選

| | | | |
|-----------|-------------|----|---------|
| 1組 (-1.0) | | | |
| 2 | <u>菊池典晃</u> | 東大 | 11"61 Q |
| 2組 (-3.6) | | | |
| 1 | <u>春日慶輝</u> | 東大 | 11"50 Q |
| 3組 (-3.4) | | | |
| 1 | <u>西田昂広</u> | 東大 | 11"51 Q |

200m 決勝 (-1.1)

| | | | |
|---|--------------|-----|-------|
| 1 | 石原 寛之 | 東学大 | 22"10 |
| 2 | 長島 貴之 | 東学大 | 23"45 |
| 3 | <u>増本健太郎</u> | 東大 | 22"84 |
| 4 | <u>拙島一樹</u> | 東大 | 22"93 |
| 5 | 佐藤 誠裕 | 電通大 | 23"12 |
| 6 | <u>真木伸浩</u> | 東大 | 23"16 |
| 7 | 稲野 龍太 | 電通大 | 23"18 |
| 8 | 櫻井 綾人 | 一橋大 | 23"52 |

200m 予選

| | | | |
|-----------|--------------|----|---------|
| 1組 (-3.3) | | | |
| 1 | <u>拙島一樹</u> | 東大 | 23"42 Q |
| 2組 (-3.0) | | | |
| 2 | <u>増本健太郎</u> | 東大 | 23"53 Q |
| 3組 (-2.2) | | | |
| 2 | <u>真木伸浩</u> | 東大 | 23"43 Q |

400m 決勝

| | | | |
|---|--------------|------|-------|
| 1 | 田中 嘉法 | 電通大 | 49"40 |
| 2 | 大澤 涉 | 東大 | 49"53 |
| 3 | <u>小福田大輔</u> | 東大 | 50"18 |
| 4 | 清水 稔 | 東農工大 | 50"52 |
| 5 | 小金沢 篤 | 東学大 | 50"95 |
| 6 | 古井 啓介 | 東学大 | 51"35 |
| 7 | 八幡 彰 | 東工大 | 51"88 |
| 8 | 吉田 卓矢 | 電通大 | 51"88 |

| 400m 予選 | | | |
|---------|--------------|----|---------|
| 1組 | | | |
| 3 | <u>小松侑太</u> | 東大 | 52"34 |
| 2組 | | | |
| 2 | <u>小福田大輔</u> | 東大 | 51"18 Q |
| 3組 | | | |
| 1 | <u>大澤渉</u> | 東大 | 50"49 Q |

| 800m 決勝 | | | |
|---------|--------------|-----|---------|
| 1 | <u>渡邊拓也</u> | 東大 | 1'58"09 |
| 2 | <u>斉藤和輝</u> | 一橋大 | 1'59"70 |
| 3 | <u>古井啓介</u> | 東学大 | 2'01"41 |
| 4 | <u>池谷裕太郎</u> | 東学大 | 2'01"57 |
| 5 | <u>近藤堯之</u> | 東大 | 2'01"87 |
| 6 | <u>十河恢</u> | 首都大 | 2'02"50 |
| 7 | <u>坂巻隆宏</u> | 電通大 | 2'02"75 |
| 8 | <u>園部竜也</u> | 東大 | 2'04"20 |

| 800m 予選 | | | |
|---------|-------------|----|-----------|
| 2組 | | | |
| 1 | <u>渡邊拓也</u> | 東大 | 2'01"52 Q |
| 3組 | | | |
| 3 | <u>園部竜也</u> | 東大 | 2'01"93 q |
| 4組 | | | |
| 1 | <u>近藤堯之</u> | 東大 | 2'06"25 Q |

| 1500m タイムレース決勝 (2組) | | | |
|---------------------|---------------|------|---------|
| 1 | <u>高田裕之</u> | 東大 | 3'59"30 |
| 2 | <u>東大貴</u> | 東大 | 4'00"59 |
| 3 | <u>大垣秀介</u> | 一橋大 | 4'01"99 |
| 4 | <u>福井雅俊</u> | 東学大 | 4'03"66 |
| 5 | <u>清沢創一</u> | 東学大 | 4'03"93 |
| 6 | <u>鈴木遊大</u> | 東農工大 | 4'04"82 |
| 7 | <u>十河恢</u> | 首都大 | 4'06"61 |
| 8 | <u>永井史也</u> | 首都大 | 4'08"40 |
| 11 | <u>大内田弘太郎</u> | 東大 | 4'12"29 |

| 5000m 決勝 | | | |
|----------|-------------|-----|----------|
| 1 | <u>大垣秀介</u> | 一橋大 | 15'07"76 |
| 2 | <u>東大貴</u> | 東大 | 15'11"40 |
| 3 | <u>青木佑樹</u> | 東大 | 15'12"09 |
| 4 | <u>田澤博幸</u> | 首都大 | 15'13"07 |

| | | | |
|---|-------------|-----|----------|
| 5 | <u>福井雅俊</u> | 東学大 | 15'15"51 |
| 6 | <u>宮野健司</u> | 東大 | 15'15"54 |
| 7 | <u>服部俊</u> | 首都大 | 15'29"23 |
| 8 | <u>笠原慧</u> | 東工大 | 15'31"40 |

| 110mH タイムレース決勝 (2組、-2.8,-3.9) | | | |
|-------------------------------|--------------|-----|-------|
| 1 | <u>志田望</u> | 東学大 | 15"46 |
| 2 | <u>長島貴之</u> | 東学大 | 15"77 |
| 3 | <u>酒谷彰一</u> | 東大 | 15"94 |
| 4 | <u>中村卓磨</u> | 電通大 | 16"07 |
| 5 | <u>増本健太郎</u> | 東大 | 16"15 |
| 6 | <u>今野拓也</u> | 東学大 | 16"23 |
| 7 | <u>江間輝裕</u> | 東大 | 16"46 |
| 8 | <u>橋本拓哉</u> | 首都大 | 16"63 |

| 400mH タイムレース決勝 (2組) | | | |
|---------------------|--------------|-----|-------|
| 1 | <u>ラッシュ恵</u> | 一橋大 | 53"98 |
| 2 | <u>小金沢篤</u> | 東学大 | 54"07 |
| 5 | <u>志田望</u> | 東学大 | 55"61 |
| 4 | <u>山口貴美</u> | 東学大 | 55"96 |
| 5 | <u>酒谷彰一</u> | 東大 | 56"35 |
| 6 | <u>高木海平</u> | 東大 | 56"39 |
| 7 | <u>赤木裕</u> | 東大 | 56"90 |
| 8 | <u>伊東成晃</u> | 東工大 | 56"97 |

| 5000mW 決勝 | | | |
|-----------|--------------|-----|----------|
| 1 | <u>山口貴史</u> | 東学大 | 21'17"94 |
| 2 | <u>村上格</u> | 東学大 | 21'54"99 |
| 3 | <u>高島佑太</u> | 東外大 | 22'14"78 |
| 4 | <u>瀧川朗</u> | 東大 | 22'27"53 |
| 5 | <u>武石良平</u> | 東工大 | 23'53"53 |
| 6 | <u>近藤健一</u> | 東大 | 25'39"06 |
| 7 | <u>鈴木靖人</u> | 電通大 | 26'43"45 |
| 8 | <u>吉竹悠宇志</u> | 東工大 | 29'01"49 |
| - | <u>井上雄介</u> | 東大 | DSQ |

| 4 × 100mR 決勝 | |
|--------------|----------------------------------|
| 1 | <u>東大</u> 42"06 (増本-西田-真木-春日) |
| 2 | <u>首都大</u> 42"47 |
| 3 | <u>東学大</u> 42"49 |
| 4 | <u>東工大</u> 42"98 |

| | | |
|---|------|-------|
| 5 | 電通大 | 43"28 |
| 6 | 一橋大 | 43"78 |
| 7 | 東農工大 | 44"40 |
| 8 | 東外大 | 44"85 |

4 × 400mR タイムレース決勝 (2組)

| | | | |
|---|------|---------|---------------|
| 1 | 東大 | 3'22"38 | (春日-大澤-増本-拙島) |
| 2 | 電通大 | 3'23"29 | |
| 3 | 一橋大 | 3'28"46 | |
| 4 | 東工大 | 3'30"02 | |
| 5 | 首都大 | 3'32"69 | |
| 6 | 東農工大 | 3'32"71 | |
| 7 | 東外大 | 3'37"83 | |
| 8 | 東医歯大 | 3'43"28 | |

走高跳決勝

| | | | |
|----|-------|------|------|
| 1 | 松山直輝 | 東学大 | 2m00 |
| 2 | 武井泰宏 | 首都大 | 2m00 |
| 3 | 岩科伶 | 東外大 | 1m90 |
| 4 | 山口和紀 | 首都大 | 1m85 |
| 5 | 石川順章 | 一橋大 | 1m85 |
| 6 | 多川慧 | 東農工大 | 1m85 |
| 7 | 野村宜成 | 東工大 | 1m80 |
| 8 | 安久津卓哉 | 首都大 | 1m75 |
| 10 | 坂本智 | 東大 | 1m75 |
| 11 | 小福田大輔 | 東大 | 1m75 |
| 12 | 地子智浩 | 東大 | 1m70 |

棒高跳決勝

| | | | |
|---|------|-----|------|
| 1 | 谷優樹 | 首都大 | 4m00 |
| 2 | 持永新 | 東大 | 3m80 |
| 3 | 岩科伶 | 東学大 | 3m60 |
| 4 | 土居富裕 | 東大 | 3m60 |
| 5 | 小森一真 | 一橋大 | 3m30 |
| 6 | 原湖楠 | 東大 | 3m30 |
| 7 | 小金沢篤 | 東学大 | 2m70 |

走幅跳決勝

| | | | |
|---|------|-----|------------|
| 1 | 西田昂広 | 東大 | 7m13(+1.9) |
| 2 | 栗原諒 | 東学大 | 7m10(+2.3) |
| 3 | 中西俊紀 | 東学大 | 6m83(+3.3) |

| | | | |
|----|------|-----|------------|
| 4 | 上原涼 | 電通大 | 6m82(+1.8) |
| 5 | 飯島靖成 | 東大 | 6m68(+1.7) |
| 6 | 押尾晴樹 | 東工大 | 6m59(+2.6) |
| 7 | 小沢順 | 一橋大 | 6m48(+1.8) |
| 8 | 高見将則 | 東工大 | 6m41(+2.0) |
| 10 | 廣瀬彬 | 東大 | 6m08(+2.2) |

三段跳決勝

| | | | |
|---|--------|-----|-------------|
| 1 | 廣瀬彬 | 東大 | 13m98(+2.6) |
| 2 | 西田昂広 | 東大 | 13m89(+2.3) |
| 3 | 高見将則 | 東学大 | 13m82(+3.3) |
| 4 | 上原涼 | 東工大 | 13m66(+0.8) |
| 5 | 横山功機 | 東大 | 13m60(+3.0) |
| 6 | 中嶋祐介 | 首都大 | 13m30(+2.2) |
| 7 | 武井泰宏 | 東工大 | 13m14(+2.5) |
| 8 | 井上健二 | 東学大 | 12m99(+1.7) |
| - | 武安 光太郎 | DNS | |

砲丸投決勝

| | | | |
|----|-------|-----|-------|
| 1 | 佐々木駿 | 東大 | 10m81 |
| 2 | 岩崎美秋 | 東外大 | 10m80 |
| 3 | 持永新 | 東大 | 10m78 |
| 4 | 角田光洋 | 東学大 | 10m75 |
| 5 | 小島聡 | 東学大 | 10m35 |
| 6 | 酒井美孝 | 首都大 | 10m31 |
| 7 | 中西俊紀 | 東学大 | 10m23 |
| 8 | 三瓶佑太郎 | 東外大 | 9m95 |
| 11 | 原湖楠 | 東大 | 9m32 |

円盤投決勝

| | | | |
|---|------|------|-------|
| 1 | 小島聡 | 東学大 | 36m03 |
| 2 | 佐々木駿 | 東大 | 35m91 |
| 3 | 岩崎美秋 | 東外大 | 35m09 |
| 4 | 持永新 | 東大 | 32m65 |
| 5 | 岩科伶 | 東学大 | 32m00 |
| 6 | 片山卓也 | 東大 | 31m04 |
| 7 | 中西俊紀 | 東学大 | 30m04 |
| 8 | 保浦修裕 | 東医歯大 | 30m25 |

やり投決勝

| | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 石川淳太郎 | 東学大 | 56m85 |
| 2 | 重光成一郎 | 一橋大 | 55m79 |

| | | | |
|----|------|-----|-------|
| 3 | 八木勇馬 | 首都大 | 53m11 |
| 4 | 木全由一 | 東外大 | 51m83 |
| 5 | 中嶋祐介 | 東学大 | 51m49 |
| 6 | 今野拓也 | 東学大 | 48m68 |
| 7 | 品田昌希 | 首都大 | 47m65 |
| 8 | 山元明人 | 東大 | 45m11 |
| 13 | 山東誉英 | 東大 | 32m03 |
| 15 | 原湖楠 | 東大 | 29m69 |

トラック順位

| | | |
|---|-----|-----|
| 1 | 東大 | 131 |
| 2 | 東学大 | 103 |
| 3 | 一橋大 | 42 |

フィールド順位

| | | |
|---|-----|----|
| 1 | 東学大 | 94 |
| 2 | 東大 | 74 |
| 3 | 首都大 | 36 |

総合順位

| | | |
|---|-----|-----|
| 1 | 東大 | 205 |
| 2 | 東学大 | 197 |
| 3 | 首都大 | 68 |

女子の部

100m 決勝 (-2.3)

| | | | |
|---|-------|------|-------|
| 1 | 五味未菜子 | 東学大 | 12"81 |
| 2 | 小菅祥子 | 東学大 | 13"15 |
| 3 | 劔持由莉香 | 首都大 | 13"27 |
| 4 | 久保木結 | 東大 | 13"49 |
| 5 | 荒川泉 | 東農工大 | 13"50 |
| 6 | 関谷美緒 | 東外大 | 13"74 |
| 7 | 吹野恵子 | 東医歯大 | 13"75 |
| 8 | 鈴木理香 | 東大 | 13"87 |

100m 予選

| | | | |
|-----------|------|----|---------|
| 1組 (-2.5) | | | |
| 3 | 久保木結 | 東大 | 13"65 Q |
| 2組 (-3.3) | | | |
| 4 | 鈴木理香 | 東大 | 13"84 q |

400m タイムレース決勝 (2組)

| | | | |
|---|-------|------|---------|
| 1 | 見原果林 | 東農工大 | 1'02"87 |
| 2 | 中村起名子 | 東学大 | 1'02"92 |
| 3 | 北村瑤子 | 東医歯大 | 1'03"13 |
| 4 | 堀越彩香 | 東大 | 1'04"46 |
| 5 | 西山侑里 | 東外大 | 1'05"00 |
| 6 | 加藤紀香 | 東農工大 | 1'05"28 |
| 7 | 野村優里 | 東外大 | 1'06"17 |
| 8 | 鈴木彩香 | 東大 | 1'06"35 |

800m タイムレース決勝 (2組)

| | | | |
|---|-------|------|---------|
| 1 | 高安由姫 | 東学大 | 2'17"02 |
| 2 | 見原果林 | 東農工大 | 2'24"46 |
| 3 | 浜松由莉 | 東大 | 2'25"47 |
| 4 | 加藤紀香 | 東農工大 | 2'29"01 |
| 5 | 松尾はるか | 東医歯大 | 2'30"48 |
| 6 | 増田有里子 | 東大 | 2'30"95 |
| 7 | 森田ゆかり | 東学大 | 2'38"85 |
| 8 | 山本有紀 | 東学大 | 2'40"85 |

3000m 決勝

| | | | |
|---|-------|------|----------|
| 1 | 柴田千歳 | 東学大 | 9'52"24 |
| 2 | 岡庭侑香 | 東農工大 | 10'56"85 |
| 3 | 前田恵 | 東農工大 | 10'57"26 |
| 4 | 杉浦奈美 | 東大 | 11'14"04 |
| 5 | 松尾はるか | 東医歯大 | 11'29"99 |
| 6 | 渡邊望帆 | 東学大 | 11'30"13 |
| 7 | 鈴木恵美里 | 東大 | 11'35"88 |
| 8 | 鎌田彩葉 | 首都大 | 12'01"94 |

100mH 決勝 (-1.9)

| | | | |
|---|------|-----|-------|
| 1 | 西野愛梨 | 東学大 | 14"77 |
| 2 | 山崎芽衣 | 東学大 | 15"71 |
| 3 | 久保木結 | 東大 | 15"95 |
| 4 | 高橋翠 | 東大 | 17"26 |
| 5 | 齋藤祐子 | 東外大 | 17"83 |

| 4 × 100mR 決勝 | | |
|----------------|------|-------|
| 1 | 東学大 | 48"73 |
| 2 | 東大 | 52"83 |
| (鈴木-久保木-高山-浜松) | | |
| 3 | 東外大 | 53"71 |
| 4 | 東医歯大 | 54"44 |
| 5 | 東農工大 | 54"50 |
| 6 | 首都大 | 55"94 |
| 7 | お茶女大 | 56"42 |

| 走高跳決勝 | | | |
|-------|------|-----|------|
| 1 | 飯野智子 | 東学大 | 1m60 |
| 2 | 井上七海 | 東学大 | 1m60 |
| 3 | 白井美穂 | 首都大 | 1m50 |
| 4 | 久保木結 | 東大 | 1m45 |
| 5 | 丹家里枝 | 東大 | 1m45 |
| 6 | 荒川泉 | 東外大 | 1m45 |

| 走幅跳決勝 | | | |
|-------|-------|------|------------|
| 1 | 廣川美沙紀 | 東学大 | 5m45(+3.4) |
| 2 | 古口夕貴 | 東学大 | 5m28(+3.9) |
| 3 | 高山花子 | 東大 | 5m08(+1.8) |
| 4 | 高木麻衣 | 首都大 | 4m92(+3.2) |
| 5 | 関谷美緒 | 東外大 | 4m83(+5.1) |
| 6 | 安達郁恵 | 東外大 | 4m75(+2.1) |
| 7 | 堀越彩香 | 東大 | 4m72(+2.0) |
| 8 | 坂本奈津季 | 東医歯大 | 4m48(+2.8) |

| 砲丸投決勝 | | | |
|-------|-------|------|------|
| 1 | 河原真弥 | 東学大 | 9m27 |
| 2 | 武田有希子 | 東大 | 9m10 |
| 3 | 飯野智子 | 東学大 | 8m91 |
| 4 | 楠木千尋 | 東大 | 8m50 |
| 5 | 鎌田優子 | 東外大 | 8m11 |
| 6 | 安達郁恵 | 東外大 | 7m15 |
| 7 | 原田尚美 | 首都大 | 6m84 |
| 8 | 見原果林 | 東農工大 | 6m68 |

| 円盤投決勝 | | | |
|-------|-------|-----|-------|
| 1 | 武田有希子 | 東大 | 34m70 |
| 2 | 田澤愛 | 東学大 | 27m78 |
| 3 | 原田尚美 | 首都大 | 19m40 |

| | | | |
|---|-------|------|-------|
| 4 | 楠木千尋 | 東大 | 19m27 |
| 5 | 鎌田優子 | 東外大 | 19m00 |
| 6 | 福永美也 | 東学大 | 18m82 |
| 7 | 三宅歩 | 東農工大 | 15m59 |
| 8 | 坂本奈津季 | 東医歯大 | 14m47 |

| やり投決勝 | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1 | 山崎芽衣 | 東学大 | 32m19 |
| 2 | 原田尚美 | 首都大 | 27m53 |
| 3 | 白井美穂 | 東農工大 | 25m07 |
| 4 | 高木麻衣 | 首都大 | 24m42 |
| 5 | 楠木千尋 | 東大 | 24m26 |
| 6 | 武田有希子 | 東大 | 23m05 |
| 7 | 野澤香穂 | 東学大 | 22m92 |
| 8 | 野村優里 | 東外大 | 22m58 |

| トラック順位 | | |
|--------|------|----|
| 1 | 東学大 | 65 |
| 2 | 東農工大 | 43 |
| 3 | 東大 | 41 |

| フィールド順位 | | |
|---------|-----|----|
| 1 | 東学大 | 62 |
| 2 | 東大 | 47 |
| 3 | 首都大 | 25 |

| 総合順位 | | |
|------|------|-----|
| 1 | 東学大 | 127 |
| 2 | 東大 | 88 |
| 3 | 東農工大 | 59 |

2 2010年度部内5傑 2010.6.13

*学年は2010/4/1時のもの

男子 100m

| | | | |
|---|-----------|-------------|------|
| 1 | 西田昂広(4年) | 10"83(+0.1) | 5.15 |
| 2 | 春日慶輝(3年) | 11"15(+1.8) | 5.8 |
| 3 | 菊池典晃(2年) | 11"47(+0.5) | 5.5 |
| 4 | 真木伸浩(2年) | 11"51(-0.5) | 4.25 |
| 5 | 増本健太郎(4年) | 11"52(-1.2) | 4.25 |

男子 200m

| | | | |
|---|-----------|-------------|------|
| 1 | 西田昂広(4年) | 22"20(+1.0) | 4.24 |
| 2 | 真木伸浩(2年) | 22"81(+1.0) | 4.24 |
| 3 | 増本健太郎(4年) | 22"84(-1.1) | 6.13 |
| 4 | 舩島一樹(3年) | 22"93(-1.1) | 6.13 |
| 5 | 山下修平(2年) | 23"87(-0.5) | 5.1 |

男子 400m

| | | | |
|---|----------|-------|------|
| 1 | 大澤渉(2年) | 49"53 | 6.13 |
| 2 | 小松侑太(3年) | 52"34 | 6.13 |
| 3 | 水上雄太(4年) | 52"85 | 5.1 |
| 4 | 原湖楠(4年) | 54"06 | 4.24 |
| 5 | 近藤堯之(4年) | 54"70 | 4.25 |

男子 800m

| | | | |
|---|----------|---------|------|
| 1 | 渡邊拓也(4年) | 1'55"98 | 5.30 |
| 2 | 園部竜也(4年) | 1'59"55 | 5.1 |
| 3 | 近藤堯之(4年) | 2'00"37 | 5.5 |
| 4 | 池田剛志(3年) | 2'01"18 | 6.13 |
| 5 | 須田遊人(5年) | 2'01"19 | 5.1 |

男子 1500m

| | | | |
|---|------------|---------|------|
| 1 | 東大貴(3年) | 4'00"59 | 6.13 |
| 2 | 池田剛志(3年) | 4'06"42 | 5.29 |
| 3 | 山田竜也(3年) | 4'06"83 | 4.17 |
| 4 | 大内田弘太郎(2年) | 4'07"25 | 5.1 |
| 5 | 渡邊拓也(4年) | 4'08"27 | 3.25 |

男子 5000m

| | | | |
|---|----------|----------|------|
| 1 | 宮野健司(3年) | 14'56"00 | 5.2 |
| 2 | 東大貴(3年) | 15'05"04 | 4.3 |
| 3 | 青木佑樹(3年) | 15'09"83 | 5.29 |
| 4 | 山田竜也(3年) | 15'21"04 | 4.18 |
| 5 | 渡邊駿(2年) | 15'36"18 | 5.30 |

男子 10000m

| | | | |
|---|-----------|----------|------|
| 1 | 東大貴(3年) | 30'46"98 | 5.1 |
| 2 | 宮野健司(3年) | 30'51"94 | 5.1 |
| 3 | 青木佑樹(3年) | 31'42"51 | 5.1 |
| 4 | 大久保翔平(2年) | 33'16"65 | 5.1 |
| 5 | 中島圭一(4年) | 33'21"52 | 4.17 |

男子ハーフマラソン

| | | | |
|---|----------|----------|------|
| 1 | 東大貴(3年) | 1:08'20" | 5.23 |
| 2 | 宮野健司(3年) | 1:09'06" | 5.23 |
| 3 | 青沼和幸(2年) | 1:20'22" | 4.11 |
| 4 | 渡邊陽大(2年) | 1:25'36" | 4.11 |

男子 110mH

| | | | |
|---|-----------|-------------|------|
| 1 | 酒谷彰一(4年) | 15"25(+1.9) | 5.4 |
| 2 | 増本健太郎(4年) | 15"81(+1.2) | 4.3 |
| 3 | 江間輝裕(4年) | 15"87(+2.0) | 5.5 |
| 4 | 原湖楠(4年) | 19"57(-0.2) | 4.25 |

男子 400mH

| | | | |
|---|----------|-------|------|
| 1 | 酒谷彰一(4年) | 56"35 | 6.13 |
| 2 | 高木海平(3年) | 56"39 | 6.13 |
| 3 | 赤木裕(4年) | 56"90 | 6.13 |
| 4 | 江間輝裕(4年) | 57"46 | 6.5 |

男子 3000mSC

| | | | |
|---|-----------|----------|------|
| 1 | 青木佑樹(3年) | 9'27"96 | 4.3 |
| 2 | 渡邊駿(2年) | 9'58"26 | 4.3 |
| 3 | 渡邊拓也(4年) | 10'07"12 | 4.11 |
| 4 | 大久保翔平(2年) | 10'16"84 | 3.24 |
| 5 | 岩川純也(2年) | 10'20"49 | 3.24 |

男子 5000mW

| | | | |
|---|----------|----------|-------|
| 1 | 早川晃司(4年) | 21'06"56 | 4.29 |
| 2 | 瀧川朗(2年) | 22'27"53 | 6.13 |
| 3 | 近藤健一(1年) | 25'36"06 | 6'13" |

男子 10000mW

| | | | |
|---|----------|----------|------|
| 1 | 早川晃司(4年) | 43'57"57 | 3.25 |
| 2 | 瀧川朗(2年) | 46'23"46 | 3.25 |
| 3 | 井上雄介(4年) | 53'46"56 | 5.3 |

男子 走幅跳

| | | | |
|---|----------|------------|------|
| 1 | 西田昂広(4年) | 7m13(+1.9) | 6.13 |
| 2 | 飯島靖成(1年) | 6m68(+1.7) | 6.13 |
| 3 | 真木伸浩(2年) | 6m13(+0.8) | 4.24 |
| 4 | 酒谷彰一(4年) | 6m08(+2.0) | 4.24 |
| 5 | 沢登良馬(1年) | 5m86(+1.6) | 6.13 |

男子 三段跳

- | | | | |
|---|----------|-------------|-----|
| 1 | 西田昂広(4年) | 13m37(+1.7) | 4.3 |
| 2 | 廣瀬彬(5年) | 13m34(+1.7) | 4.3 |

男子 走高跳

- | | | | |
|---|----------|------|-----|
| 1 | 坂本智(4年) | 1m80 | 5.2 |
| 2 | 地子智浩(5年) | 1m70 | 4.3 |

男子 棒高跳

- | | | | |
|---|----------|------|------|
| 1 | 土居富裕(3年) | 3m60 | 6.13 |
| 2 | 原湖南(4年) | 3m50 | 4.3 |

男子 砲丸投

- | | | | |
|---|----------|-------|------|
| 1 | 佐々木駿(2年) | 10m81 | 6.13 |
| 2 | 原湖楠(4年) | 9m63 | 4.24 |

男子 円盤投

- | | | | |
|---|----------|-------|------|
| 1 | 佐々木駿(2年) | 38m02 | 4.3 |
| 2 | 片山卓也(2年) | 31m98 | 5.5 |
| 3 | 原湖楠(4年) | 29m52 | 4.25 |

男子 やり投

- | | | | |
|---|----------|-------|------|
| 1 | 山元明人(1年) | 45m25 | 4.24 |
| 2 | 原湖楠(4年) | 40m77 | 4.3 |
| 3 | 今村昌平(2年) | 33m13 | 4.3 |
| 4 | 山東誉英(2年) | 32m03 | 6.13 |

男子 十種競技

- | | | | |
|---|---------|-------|---------|
| 1 | 原湖楠(4年) | 4806点 | 4.24-25 |
|---|---------|-------|---------|

女子 100m

- | | | | |
|---|----------|-------------|------|
| 1 | 久保木結(2年) | 13"49(-2.3) | 6.13 |
| 2 | 鈴木理香(2年) | 13"66(-2.0) | 4.10 |
| 3 | 高山花子(4年) | 14"41(-1.8) | 4.3 |

女子 400m

- | | | | |
|---|----------|---------|------|
| 1 | 久保木結(2年) | 1'04"63 | 4.18 |
| 2 | 浜松由莉(2年) | 1'05"94 | 5.5 |
| 3 | 鈴木理香(2年) | 1'06"03 | 4.10 |
| 4 | 鈴木彩夏(1年) | 1'06"35 | 6.13 |
| 5 | 高山花子(4年) | 1'08"98 | 5.1 |

女子 800m

- | | | | |
|---|-----------|---------|------|
| 1 | 浜松由莉(2年) | 2'23"32 | 5.1 |
| 2 | 増田有里子(1年) | 2'30"95 | 6.13 |
| 3 | 岩上佳世(2年) | 2'44"09 | 5.1 |

女子 1500m

- | | | | |
|---|-----------|---------|------|
| 1 | 杉浦奈実(2年) | 5'18"06 | 4.3 |
| 2 | 立岡美夏子(2年) | 5'18"25 | 4.3 |
| 3 | 鈴木恵美里(3年) | 5'30"65 | 4.25 |

女子 3000m

- | | | | |
|---|-----------|----------|-----|
| 1 | 杉浦奈実(2年) | 11'07"70 | 5.1 |
| 2 | 鈴木恵美里(3年) | 11'29"76 | 5.1 |
| 3 | 立岡美夏子(2年) | 11'48"47 | 5.1 |

女子 100mH

- | | | | |
|---|----------|-------------|-----|
| 1 | 久保木結(2年) | 15"46(+1.1) | 5.1 |
|---|----------|-------------|-----|

女子 走幅跳

- | | | | |
|---|----------|------------|------|
| 1 | 高山花子(4年) | 5m08(+1.8) | 6.13 |
|---|----------|------------|------|

女子 走高跳

- | | | | |
|---|----------|------|------|
| 1 | 丹家里枝(2年) | 1m45 | 4.25 |
| 1 | 久保木結(2年) | 1m45 | 6.13 |

女子 砲丸投

- | | | | |
|---|-----------|------|------|
| 1 | 武田有希子(1年) | 9m10 | 6.13 |
|---|-----------|------|------|

女子 円盤投

- | | | | |
|---|-----------|-------|------|
| 1 | 武田有希子(1年) | 34m70 | 6.13 |
|---|-----------|-------|------|

女子 やり投

- | | | | |
|---|-----------|-------|------|
| 1 | 武田有希子(1年) | 23m05 | 6.13 |
|---|-----------|-------|------|

3 自己記録更新者一覧

2010.5.24~6.13

5/29 第129回東海大学長距離記録会

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 5000m | 青木佑樹(3年) | 15'09"83 |
|-------|----------|----------|

5/29-30 第208回日本体育大学長距離競技会

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 1500m | 東大貴(3年) | 4'00"81 |
| 1500m | 池田剛志(3年) | 4'06"42 |
| 1500m | 宮野健司(3年) | 4'08"48 |
| 1500m | 鈴木俊輔(3年) | 4'14"88 |
| 5000m | 渡邊駿(2年) | 15'36"18 |
| 5000m | 鳶田洸一(4年) | 15'52"72 |

6/13 第58回国公立大学対校陸上競技会

- | | | |
|-------|-----------|------------|
| 400m | 大澤涉(2年) | 49"53 |
| 400m | 小松侑太(3年) | 52"34 |
| 800m | 池田剛志(3年) | 2'01"18 |
| 800m | 原慎一郎(1年) | 2'04"39 |
| 800m | 増田有里子(1年) | 2'30"95 |
| 1500m | 東大貴(3年) | 4'00"59 |
| 走幅跳 | 西田昂広(4年) | 7m13(+1.9) |

4 主務より

4.1 応援OB・OG紹介

大井陸上競技場にて行われました国公立戦に際し、応援に駆けつけて下さったOB・OGの皆様のご氏名を報告いたします。(敬称略)

1967年卒 林義之
 1988年卒 寺田秋夫
 1991年卒 小野満
 1994年卒 工藤麻衣子
 1999年卒 明石顕
 2001年卒 岡野浩行
 2003年卒 相原佑康
 2003年卒 橋本武
 2005年卒 春木洋輔
 2008年卒 持永新
 2008年卒 山本卓典
 2009年卒 梶井駿介
 2009年卒 金尾太郎
 2009年卒 小福田大輔
 2009年卒 松本光一
 2010年卒 石川恭平
 2010年卒 楠木千尋
 2010年卒 坂井啓一
 2010年卒 西川鋭
 2010年卒 野原奈緒
 2010年卒 野村圭吾
 2010年卒 山崎貴裕
 2010年卒 横田祥

ご多忙の中、お越し下さいましたことに現役部員一同、心より御礼申し上げます。

4.2 行事予定

今後の行事予定をお知らせいたします。

- 四大戦 (主管)
7/3(土) 上尾
- OB・OG戦 (T・K マスターズ)
7/10(土) 駒場グラウンド
- 七大戦
7/31(土)・8/1(日) 名古屋・瑞穂

- 一橋戦 (主管)
9/4(土) 駒場グラウンド
- 日本インカレ
9/10(金)・11(土)・12(日) 国立競技場
- 京大戦
10/9(土) 京都・山城
- 箱根駅伝予選会
10/16(土) 国立昭和記念公園
- 第12回東大競技会
10/30(土)・31(日) 駒場グラウンド
- 第1回ディスタンスチャレンジ
11/28(日) 駒場グラウンド

4.3 連絡先 (慶弔等)

慶弔のご連絡は下記連絡先までお願い申し上げます。

総務委員長:田上静之

TEL: 03-3835-6792

(凸版印刷株式会社経営監査室)

E-mail: seishi.tanoue@toppan.co.jp

学生主務:早川晃司

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-39-11

TEL: 090-5761-9980

FAX: 0422-47-8726

E-mail: shummu@uttff.org

この部便りは下記 web ページでもご覧になれます

<http://www.uttff.org/>

また、現在、陸上運動倶楽部のメーリングリスト「uttff club」にて、大会結果の速報および部便りのメール送付等を行っております。メーリングリストへの登録をご希望の方、もしくは部便りの郵送不要の方は、お手数ですが学生主務までご連絡下さい

主務 早川晃司

文責: 木内久雄